

# 平成27年度 再生可能エネルギー等導入推進 基金事業の予算要求案について

平成26年10月9日

新潟市 環境部 環境政策課  
スマートエネルギー推進室

# 1 基金の現状について

## 国庫補助金分に係る基金状況 (H26. 9月時点)

単位：千円

年度	年度当初 残高	収入		支出		年度末 残高
		金額	内容	金額	内容	
H24	0	350,245	・国補助受入 ・運用益収入	1,826	H24事業費 取崩し	348,419
H25	348,419	313	運用益収入	60,337	H25事業費 取崩し	288,395
H26	288,395	248	運用益収入 (見込み)	74,509	H26事業費 (当初予算分) 取崩し	195,434
				18,700	H26事業費 (繰越分) 取崩し	
H27	195,434	←H27・28年度活用可能額				

H26支出額は見込み

## 市単独分に係る基金状況（H26. 9月時点）

単位：千円

年度	年度当初 残高	収入		支出		年度末 残高
		金額	内容	金額	内容	
H24	0	0		0	-	0
H25	0	876	メガソーラー 土地貸付料相当 積立	0	-	876
H26	876	8,299	〃	0	-	9,175
H27	9,175	8,299	〃	0	-	17,474
H28	17,474	8,299	〃	0	-	25,773

□H28年度以降、市の単独事業として再エネ設備導入や蓄電池更新の財源として活用を検討

□国庫補助金分に係るものとは別勘定で運用

※H27以降は見込み

## **2 基金活用による整備状況**

## H26年度末までの整備状況（太陽光発電＋蓄電池）

	～H25年度		H26年度（見込み）	
	市施設	民間施設	市施設	民間施設
北区		特養1	岡方中	
東区		特養1	(木戸小)※2	
中央区	沼垂小	老健1		
江南区			亀田中	特養1
秋葉区	荻川小※1	特養1		
南区		特養1	根岸小	
西区	小針小※1	特養2		老健1
西蒲区		特養1	中之口中	


※1 太陽光発電設置済施設への蓄電池整備

※2 木戸小は、校舎改築に合わせH28年度に竣工予定

# 3 H27予算要求案について

# (1)計画の変更について

## ■H27・H28年度計画の当初計画からの変更

	修正前		修正後
公共施設への太陽光発電+蓄電池の設置 (基金10/10)	学校施設 設置なし		学校施設 8ヶ所～ (各区1ヶ所～追加)
	コミュニティ施設 4ヶ所～		コミュニティ施設 なし
民間施設への太陽光発電+蓄電池の設置 補助 (基金1/3)	病院等 3カ所		病院等 なし

当初計画・・・基金事業の実施にあたり、全体計画として、5カ年の計画を当初環境省に示したもの



## (2) 計画変更の理由

### 1 太陽光発電＋蓄電池のコミュニティ施設への導入中止と、学校施設への追加整備

- ①学校施設への整備について、導入実績から、当初見込んでいた1ヶ所あたりの金額より少額に整備できることが判明  
(計画時30,000千円/学校1施設 → 実績21,000千円/学校1施設)
- ②さらに、民間施設への補助分として計画していた分を、公共施設整備として振り分けることで、追加で各区1ヶ所の学校施設への整備が可能に
- ③避難可能人数の多い学校施設へ整備することにより、災害時の非常用電源として整備費用あたりの導入効果が高められる。

【参考】施設毎の避難可能人数(例) 新潟市地域防災計画資料編より地震時における人数

施設名	避難可能人数	施設名	避難可能人数
沼垂小学校	1,837	木崎コミュニティセンター	181
荻川小学校	1,667	北地区コミュニティセンター	489
小針小学校	1,909	白山コミュニティハウス	100

### 2 民間施設補助(病院等)の中止

- ①災害等による停電時に大型風力発電からの電力供給を前提とした防災型スマートグリッドへの参加を目的にした補助制度という位置付けだったが、風力発電からの電力供給自体が、災害時専用の自営線や変圧器等の整備に係るコストの問題から難しいことが判明。
- ②制度上FITを利用出来ないため、民間事業者の費用負担が大きい。
- ③補助率1/3の場合、同様の補助率の他国補助制度の活用が検討できる。

## (3)H27予算要求検討案

	区	予定施設※1	H27	H28
太陽光発電＋蓄電池	北	木崎中学校	2ヶ所 工事  4ヶ所 設計	4ヶ所 工事
	江南	亀田西中学校		
	秋葉	新津第一小学校		
	南	新飯田小学校		
	西	大野小学校		
	西蒲	岩室中学校		
	東区	木戸小学校※2		工事
蓄電池 (太陽光発電既設施設 への追加)	中央	万代高校	工事	
	中央	鳥屋野小学校	工事	
	東	下山小学校	工事	
ソーラ-LED外灯	—	避難所指定公園	5箇所程度工事	数箇所工事
ペレットストーブ	—	学校等	稼働率が高い施設を検討	
概算予算要求額(千円)			101,000	112,000

※1 予定施設は現時点での案であり、建物の構造確認等の結果により、変更を行うこともある

※2 木戸小学校は改築工事に併せて実施であり、既に設計済み

## (4) 対象施設選定の考え方

### 1 太陽光発電設備＋蓄電池

- ・ 現行耐震基準で設計された施設
- ・ 区のバランスに配慮
- ・ できるだけ築年数の浅い施設
- ・ 屋根形状において、設置可能で、メンテナンスが容易なもの
- ・ 構造計算書があり、余荷重を確認できるもの

### 2 蓄電池のみ

- ・ 指定避難所に指定されている施設のうち、既に太陽光発電が設置されている施設

### 3 ソーラーLED外灯

- ・ 災害時の広域避難所又は一時避難所に指定されている公園
- ・ 管理者（各区役所建設課）において、新規設置又は既存外灯の更新が必要と判断したもの（通常時における外灯の必要性を考慮）
- ・ 一時避難所においては、商業地内又は住宅密集地内にある公園を優先
- ・ 上記により、各区のバランスは配慮しない。

### 4 ペレットストーブ

- ・ 稼働率が高い施設（財務省からの指摘を踏まえ）
- ・ 運用において協力が必要なことから、施設管理者・運用者の理解を得たもの

# (5)H28年度までの実施見込み

番号	項目	施設	設備	H24	H25	H26	H27	H28	計
1	再エネ等導入に係る計画策定事業	委員会開催	—	1	2	2	2	2	9
2	公共施設再エネ等導入事業	学校	太陽光蓄電池		2	3	2	5	12
			蓄電池		2		3		5
		コミュニティ施設	太陽光蓄電池				—	—	0
		公共施設	パレットストーブ				数箇所		
3	民間施設再エネ等導入推進事業	特別養護老人ホーム	太陽光蓄電池	1	7	2			10
		病院等	太陽光蓄電池				—	—	0
4	風力・地熱発電事業等導入支援事業	—							